

OFF

首藤さんは家族や友人と食事を楽しむ時間が好き。オフタイムの写真として友人とワインのおいしい店に行ったときの「コマ」を提供してくれた。魚のカルパッチョもおいしそう。



1 業務に必要な手袋などの備品をチェックする秦さん。
2 笑顔で電話対応する首藤さん。迅速かつ丁寧な対応を心掛ける。
3 パソコンに向かう高森さん。介護提供責任者としての仕事もこなしていく。

お客さまにとって安心できる在宅生活をサポートする「あさがお」。



あさがおヘルパーセンター／あさがお訪問看護ステーション
大分市曲832-8
☎097-567-0051
<https://www.asagao-h.com/>



あさがおヘルパーセンター／あさがお訪問看護ステーション

秦香さん

Shin Kaori
令和4年(2022年)入社
介護福祉士

Q 最近うれしかったことは？
友人のお子さんが大河ドラマに出演したこと

首藤志野さん

Shuto Shino
令和3年(2021年)入社、
介護福祉士

Q 楽しいと思う時間は？
家族、友人と過ごす時間

高森穂美さん

Takamori Honomi
令和2年(2020年)入社
介護福祉士

Q あなたの宝物は？
子どもです

会社に大切にされていると実感できるので
思う存分に仕事とお客さまを大切にできます

大分市の株式会社あさがおは、在宅で生活する人々に介護や看護を提供する事業所だ。ここで訪問介護員を務める高森穂美さん、首藤志野さん、秦香さんに話を聞いた。

「入社時よりコロナ禍でしたが、会社の感染対策は徹底されていて安心しました。自分が希望した日時で仕事ができ、急な休みにも対応してもらえるので育児との両立ができています。先輩方から優しく指導を受けてながら楽しく働くことができています」と高森さんは話す。「ネットで仕事を探しているとき、検索した紹介会社さんから『これまで紹介してきた皆さんが楽しくお仕事をしておられますよ』と聞いていました。面接では働きやすさの仕組みについて丁寧に説明を受けました。入社後もワークライフバランスの整った環境で仕事ができることに感謝しています。自分自身の能力を生かしながら成長できる環境にあり、自信を持てるようになりました」と首藤

さん。ケースに応じて24時間の介護を必要とする訪問先もあり、1000人を超えるスタッフを擁するのは『あさがお』の大きな強みだ。介護施設で長く働いてきたという秦さんも「従来、在宅看護介護の仕事とは、1人のお客さまを1〜2人の職員が固定して伺うイメージがあり、それでは負担が重し休みも取りにくいように感じていました。でも『あさがお』では複数制という、訪問頻度の高いお客さまの場合には10人以上のスタッフが交代でうかがう体制があります。気兼ねなく休みが取れ、自分の生活スタイルに合わせた働き方ができます。研修システムもしっかりしていて不安なく働けています。人数が多いっていいなと思いますね」。スタッフのうち半数以上が看護師資格を保持するというメンバー構成は心強い。通常のヘルパー事業所では対応が厳しい筋萎縮性側索硬化症(ALS)などの難病や重度障害を持つ人の生活を支える重度訪問介護にも対応し、会社が受講料を全額援助して介護士が医療的ケアに対応できる資格を取得する制度も整っている。「介護士が医療的ケアに取り組むことに

ついて最初は不安が大きかったです。が、看護師資格を持つ仲間と相談できる環境があるので安心ですし、自身のスキルアップにもつながります。誇りを持って仕事に取り組んでいます」と首藤さん。「先日、何気ない会話の中で、『あさがおには良い人が多いですね』という話になりました。入社時から先輩方に優しくしていただき、自分が先輩になったときに後輩に同じように接するとういう良い循環が20年以上続いているのだと思います。その伝統をつないできた諸先輩に感謝したいです」と秦さんも話す。高森さんは、お客さまのためにケアマネジャーやヘルパーとの関係をつなぎ、介護サービスの計画を立てるサービス提供責任者としての仕事もこなしている。「今の職場は人間関係で苦労をしたことはほとんどありません。すてきな先輩方や優しい後輩の方に支えられて頑張ることができています。今後も皆さんと協力してお客さまがご希望される場所です。安心して生活できるよう努めていきます」。そんな3人が大事にするモットー「健康第一」の言葉を高森さんが代表して記してくれた。

彼女たちのしごと
働く現場から

撮影／杜多洋一 取材／文／小川尚子